

日本音楽表現学会 2022年度大会特集

目 次

【巻頭言】環境と音楽表現活動の持続可能性	小西 潤子	2
2022年度総会報告		3
第20回（ソナーレ）大会写真集		9
第20回（ソナーレ）大会を終えて	宮本賢二郎	13
第20回（ソナーレ）大会参加者の声		14
尾見敦子、内崎章太、稲木真司、北村はるか、梶村有美、清水稔、片寄晴弘		
新入会員紹介		16
後援コンサート等情報		18
会員による新刊・CD等リリース		20
事務局からの重要なお知らせとお願い		21
日本音楽表現学会第21回大会のご案内		24
編集後記		24
2022年度役員・委員等一覧		24

日本音楽表現学会



所在地：〒616-8025 京都市右京区花園土堂町1-6

事務局：同上

Tel. 075-462-1388

E-mail: music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

http://www.music-expression.sakura.ne.jp/

年会費：5,000円

振込先：A) 郵便局振込用紙利用 01370-6-78225 日本音楽表現学会

B) ゆうちょ銀行へ振込 いちさんきゆう 一三九(139)店(当座) 0078225 日本音楽表現学会

環境と音楽表現活動の持続可能性

小西 潤子 (会長・音楽学)

2022年度より、2期目として日本音楽表現学会会長を拝命しました。3年ぶりに対面で実施した第20回ソナーレ大会において、旧理事会からの引継ぎと新理事会のキックオフができたことを大変喜ばしく思います。コロナ時代以前に当たり前だったリアルな空間でのコミュニケーションが、これほど意義あることだとあらためて実感いたしました。役員をはじめ、会員の皆様のお力添えをいただきながら引き続き鋭意努力してまいりますので、どうぞよろしくをお願いいたします。

さて、ジャレッド・ダイヤモンド UCLA 教授が東アジアおよび太平洋の視点からの人類史によって、世界の地域間格差を論じた *Guns, Germs, and Steel* を出版したのは、1997年のことでした (倉骨彰訳 2000『銃・病原菌・鉄』草思社)。銃、病原菌、鉄は、ヨーロッパ人が他の大陸を征服した直接的要因を凝縮したキーワードです。ここでは、地域間格差は、人類の生物学的な差異によってではなく環境の差によって決定づけられたことが論理的に述べられています。すべて歴史上の出来事だと思っていたところ、20年以上経った今、銃と病原菌が猛威をふるい、鉄と日常生活とのかかわりの深さを実感することになるろうとは、思いもよりませんでした。

銃は、ウクライナとロシア間の戦争を始めとする各地での紛争の象徴であり、相次ぐ銃乱射事件やテロ事件に用いられる武器。戦後77年を迎えた日本では、戦争の悲惨さや平和の大切さを伝える活動が細々と続けられていますが、その小さな声が世界に届いていないのが現状です。病原菌 (病原体) とは、言わずもがな新型コロナウイルス COVID-19。かつて感染症を引き起こすことで恐れられた病原菌は近代医学によって制覇され、限られた地域で風土病を起こすに過ぎず、治療も可能だと思っていましたが、ところが、その一種がこれほど人類に挑み続け、多大な影響を与えているのです。鉄は、安価で比較的加工しやすく入手しやすいことから、身近なモノによく使われる金属。たとえば、グランドピアノのフレームには、鉄、炭素およびケイ素を主成分とした 100 kg 以上の鑄鉄が用いられているそうです。鉄鋼の生産量は、国力の指標ともされ、世界経済発展にも大きく影響していますが、一方で、鋼構造社会インフラの経年劣化問題が喫緊の課題となっています。

前掲書では、銃、病原菌、鉄という直接的要因と共に、間接的前提条件としての食糧生産についても論じています。一例として、メソポタミアの肥沃三日月地帯で紀元前一万一千年以降に食糧生産技術が発展したのは、8種の「起

源作物」や山羊、羊、豚が分布したこと、地中海性気候という条件に恵まれたことだとします。その先進的な食糧生産技術は、ヨーロッパ、エジプトと北アフリカ、中央アジア、インダス渓谷へと東西に伝播した程でした。しかし、その後の農地開墾や木材利用のために森林が破壊され、灌漑農業で地表の塩分蓄積が進んだことで、かつての肥沃三日月地帯では食糧問題が長年の課題となり、再生不可能な石油に依存していることは周知のとおりです。

国連によると、コロナ禍による食糧高騰により、2020年には世界のほぼ10人に1人にあたる8億1千万人が飢餓に苦しんだとされます。湾岸アラブ諸国や北アフリカでは、2022年に入ってからロシアとウクライナからのサプライチェーン崩壊によって、さらに深刻な食糧危機に陥っています。食糧の安全保障は、日本に住む私たちにも関わる地球全体の問題です。それを脅かしているのが、いまだに銃と病原菌なのです。

環境問題と音楽表現活動とは、あまり縁がないようにも思われるかも知れません。私自身も環境運動家ではありませんが、食べて生きることはすべての基本であり、環境保全は音楽表現活動の持続可能性にとっても不可欠だと考えています。たとえば、ピアノ1台には鉄のみならず、世界中から運ばれてくる木材、羊毛、樹脂などの素材からなる1万個に及ぶ部品が用いられているそうです。素材の良し悪しが楽器の音色を左右することは間違いないでしょうから、望ましい音楽表現活動を持続するためには、まず楽器製作者が良質の素材を安定的に得ることが求められます。また、多くの作曲家が自然との対話から、創作のヒントを得てきました。自然環境が破壊されることは、創作活動から豊かさが失われることにもつながります。さらに、音楽に生命を与える役割を担う演奏家には、少なくとも本番前の食事にジンクスや効用へのこだわりをもつ方も多いようです。食べ物が身体を作るだけでなく、良い演奏を導くことをも経験的に理解しているのです。

世間一般からは、音楽家は特殊な才能を有し、好きなことをして生きている恵まれた存在のように思われているふしもあります。しかし、それを支える重要な要因の1つが環境だと言えます。音楽表現活動に携わる私たちであるからこそ、地球全体を取り巻く環境問題を我がこととして実感できるのではないのでしょうか。私たちには、世界と音楽の持続可能性のための一步を踏み出すために、直接的あるいは間接的にリーダーシップを発揮することが期待されるのです。

日本音楽表現学会 2022 年度総会報告 (日本音楽表現学会 2022 年度総会議事録)

日時：2022 年 6 月 18 日 (土) 15:40 ~ 16:50

場所：浜松学院大学 3 号館 4401 教室

0. 出席者 70 名 委任状 281 通 計 351 名分 (定足数 120) にて総会は成立した。

1. 開会の辞：小野亮祐事務局長から開会が告げられ、小西潤子会長より開会の挨拶がなされた。

2. 議長・記録選出：議長に後藤丹会員 (作曲) が、記録に豊田典子会員 (声楽) が選出された。

3. 報告

1) 2021 年度事業報告について

小野事務局長より【資料 1】に基づき説明があり、異議なく了承された。

2021 年度事業報告

【資料 1】

第 19 回天翔るペガサス大会	2021.06.19 (土) -20 (日)	(共催) 新島学園短期大学 オンライン開催 (YouTube と zoom)
基調講演	2021.06.19 (土)	YouTube によるオンライン開催
レクチャーコンサート		
総会	2021.06.19 (土) 15:35-16:45	zoom によるオンライン開催
サロン		zoom によるオンライン開催
研究発表		『音楽表現学』Vol.19 において誌上発表
理事会		
第 1 回	2021.06.20 (日) 18:30-19:00	zoom によるオンライン開催
第 2 回	2021.11.28 (日) 10:00-16:00	於：学会事務局 & zoom によるオンライン開催
臨時	2022.01.30 (日) 16:00-18:00	於：zoom によるオンライン開催
第 3 回	2022.03.07 (月) 10:30-18:00	於：学会事務局 & zoom によるオンライン開催
その他	電子媒体による持ち回り会議	
編集委員会		
第 1 回	2021.06.06 (日) 10:00-12:00	zoom によるオンライン開催
第 2 回	2021.08.02 (月) 10:00-14:00	zoom によるオンライン開催
その他	電子媒体による持ち回り会議	
『音楽表現学』Vol.19 発行	2021.11.30 (火)	
『音楽表現学』Vol.18 電子版登載	2021.11.30 (火)	
ニューズレター発行 No.1	2021.07.31 (土)	
No.2	2021.11.30 (火)	
No.3	2022.03.31 (木)	
「ソナーレ大会ちらし」配布	2022.03.31 (木)	
『ソナーレ大会大会要項』発行	2022.04.15 (金)	
財務局 下半期会計監査	2022.06.06 (月)	
第 20 回大会表敬訪問	2021.12.20 (月)	

* 後援 22 件

* 現在会員数 593 名、入会者：33 名、退会者：27 名 (6 月 15 日(日)現在、入会者と退会者は前回総会以降の人数)

2) 2022-23 年度会長・理事選挙結果について

田邊健太郎選挙管理委員会委員長より、【資料 2】に基づいて選挙結果の報告があり、異議なく承認された。【資料 2】

2021-22 年度選挙管理委員会では 2022-23 年度会長・理事選挙の開票を 2022 年 3 月 20 日(日)に本学会事務所において行いました。その結果をここに報告いたします。

2021-22 年度選挙管理委員会委員長 田邊健太郎 ㊟

委員 牛渡 克之 ㊟

” 松井 萌 ㊟

1. 有権者数 : 603 名	会長 小西 潤子
2. 投票者総数: 306 名	理事 石原 慎司 大竹 紀子
3. 有効投票数: 301 票	小川 有紀 杉江 淑子
4. 無効票 : 5 票 (消印無効)	寺内 大輔 藤原 嘉文
5. 信任の可否: 候補者全員が最低信任数 (151 名) を超えていた。全員が信任された。	宮本賢二郎 吉田 秀文

3) 天翔るペガサス大会決算報告について

渡会純一財務理事より、【資料3】天翔るペガサス大会の収支決算報告があり、異議なく了承された。

天翔るペガサス大会決算報告

【資料3】

【収入】	費目	金額	備考	予算
	大会参加費	922,500	参加費：5,500円×150名 非会員：6,500円×15名	750,000
	広告掲載料	220,000		200,000
	大会要項販売	0		0
	雑収入	0		0
	小計	1,142,500		950,000
	一般会計より補填	0		424,000
	合計	1,142,500		1,374,000

【支出】	費目	金額	備考	予算
	基調講演講師謝礼	0	会員につき派生せず	0
	レクチャーコンサート謝礼	0	会員につき派生せず	0
	オープニング演奏経費	14,000	学生の交通費等 1,000×14	80,000
	サロン経費	26,400	zoom 接続料	26,000
	学生アルバイトスタッフ謝金	0	対面開催せず	0
	校舎施設使用料	93,300	大学施設使用料、5/16ホール使用料、ホールピアノ調律	100,000
	『大会要項』等編集・印刷費	359,616	チラシ、『大会要項』、『音楽表現学』別冊	440,000
	大会事業経費	320,875	収録・編集作業費など、大会本部経費、役員費	400,000
	会議費	10,875	撮影日お茶代、撮影隊昼食代（高崎、京都）	10,000
	通信発送費	59,632	『大会要項』 発送費 ほか	72,000
	交通費	213,458	本部：撮影交通費（京都・高崎）・宿泊費（高崎） 高崎：演奏者、実行委員交通費・宿泊費 *表敬訪問は昨年度会計に含む	235,000
	スタッフポロシャツクリーニング	0	対面開催せず	0
	事務用品費	2,000	ケーブル	5,000
	振込手数料	540	『大会要項』振込、実行委員会通帳からの振込	3,000
	雑費	0		3,000
	小計	1,100,696		1,374,000
	一般会計へ繰り越し	41,804		0
	合計	1,142,500		1,374,000

4) 一般会計2021年度決算（案）

渡会純一財務理事より、【資料4】一般会計2021年度決算案及び学会基金の説明があった。海津幸子監事より、監査結果報告があり、【資料4】は異議なく承認された。

2021年度会計報告・監査報告

【資料4】

【収入】	費目	2021年度決算	2021年度予算	備考
	2021年度会費	3,010,000	3,000,000	5000円×延602名
	学会誌売上	40,500	30,000	13冊
	『論文執筆のしおり』売上	10,000	6,000	25冊
	利息	24	0	ゆうちょ2冊+みずほ
	大会会計から繰り入れ	41,804	0	
	雑収入	6,000	0	『音楽表現学』増頁分
	小計	3,108,328	3,036,000	
	前年度繰越金	3,271,888	3,271,888	
	合計	6,380,216	6,307,888	

【支出】	費目	2021年度決算	2021年度予算	備考
	『音楽表現学』Vol.19	印刷費等	788,590	800,000
		査読謝礼・英文題目校閲	5,000	30,000
	ニューズレターNo.1～No.3	印刷費等	111,014	150,000
	名簿（偶数年度発行）	作成・印刷費	-	-

『論文執筆のしおり』	印刷費	-	-	
理事会	会場費	3,700	60,000	第2回、第3回理事会
	交通費	56,930	500,000	対面・zoom 併用
編集委員会	会場費	0	40,000	
	交通費	0	300,000	zoom
選挙管理委員会	会場費	378	10,000	
	交通費	4,800	10,000	
	印刷費	36,607	35,000	
	通信発送費	111,766	70,000	返信用切手を含む
デザイン室	役務費：発送作業	12,730	20,000	
	事務用品費	290,534	170,000	トナー、インク、adobe
事務局費	役務費	149,350	130,000	各種文書作成など
	会場費	0	5,000	
	交通費	1,980	50,000	
	通信発送費	254,702	350,000	NL No.1～3, zoom 通信、オンライン会議
	事務用品費	39,660	80,000	封筒、用紙等
	役務費	46,140	80,000	発送作業など
学会基金積立		300,000	300,000	
払込手数料		2,255	5,000	
雑費		0	30,000	
大会補助		0	424,000	
予備費		0	10,000	
	小計	2,216,126	3,659,000	
次年度繰越金		4,164,090	2,648,888	
	合計	6,380,216	6,307,888	

学会基金

【収入】	費目	2021年度決算	2021年度予算	備考
	2021年度学会基金	300,000	300,000	
	『音楽表現学のフィールド1,2』売上	21,000	15,000	7冊（送料込）
	利息	43	0	三井住友
	小計	321,043	315,000	
	前年度繰越金	4,889,936	4,990,936	
	合計	5,210,979	5,204,936	

【支出】	項目	2021年度決算	2021年度予算	備考
	『音楽表現学』バックナンバー電子化	6,000	100,000	J-STAGEへの掲載
	小計	6,000	100,000	
	次年度繰越金	5,204,979	5,104,936	
	合計	5,210,979	5,204,936	

以上の通り報告いたします。

2022年5月27日

財務 渡会 純一 ㊟ 上山 典子 ㊟ 寺内 大輔 ㊟

監査の結果、以上に間違いありません。

監事 海津 幸子 ㊟ 小川 有紀 ㊟

5) 年会費納入状況（2022年3月31日現在）

寺内大輔財務理事より【資料5】年会費納入状況について説明があった。久住庄一郎会員（ドイツ歌曲）より年会費の納入期限について質問があり、寺内財務理事より、4月1日～3月31日であるとの回答があった。

年会費納入状況（2022年3月31日現在）

【資料5】

会員数	未納状況	
593名 (2021年3月31日)	19-21年度	3年未納（6名）（除名）
	20-21年度	2年未納（14名）
	21年度	1年未納（41名）

6) 『音楽表現学』Vol.20 進捗状況

渡辺修身編集委員長より、進捗状況報告と査読者への謝辞が述べられた。19本の投稿の内訳は原著論文14本、評論論文1本、研究報告4本であり、現在査読中である。

7) その他 なし

4. 協議

1) 2022年度事業計画（案）について

小野事務局長より説明があり、編集委員会第2回の日付を訂正の上、異議なく承認された。

2022年度事業計画（2022年4月1日～2023年3月31日）			【資料6】
第20回（ソナーレ）大会	2022.06.18(土)-19(日)	於：浜松学院大学	
理事会 第4回	2022.06.17(金)	於：浜松学院大学	
第1回	2022.06.19(日)	於：浜松学院大学	
第2回	2022.12月上旬頃（予定）	於：未定	
第3回	2023.03月頃（予定）	於：未定	
第4回	2023.06月頃（予定）	於：未定	
その他 電子媒体による持ち回り会議			
編集委員会 第1回	2022.05.29(日)	於：zoom	
第2回	2022.07.27(水)	於：zoom	
その他 電子媒体による持ち回り会議			
『音楽表現学』Vol.20 発行	2022.11.30(水)（予定）		
『音楽表現学』Vol.19 電子版登載	2022.11.30(水)（予定）		
ニューズレター発行 No.1	2022.07.31(日)（予定）		
No.2	2022.11.30(水)（予定）		
No.3	2023.03.31(金)（予定）		
財務局上半期会計監査	2022.11月下旬（予定）		
下半期会計監査	2023.05月中（予定）		
『会員名簿（2022年度版）』発行	2022.11.30(水)（予定）		
*後援 25件（昨年度22件）			

2) 第20回（ソナーレ）大会予算について

第20回ソナーレ大会予算（案）について寺内財務理事より説明があり、異議なく承認された。

第20回（ソナーレ）大会予算				【資料7】
【収入】	費目	金額	備考	天翔るペガサス決算
	大会参加費	945,500	参加費：6,000円×139名=834,000 非会員：3,500円（1日参加）×25名（延べ）=99,500 学 生：1,000円（1日参加）×12名（延べ）=12,000	922,500
	広告掲載料・ブース出展料	310,000		220,000
	『大会要項』販売	1,500	一部500円×3	0
	雑収入	0		0
	小 計	1,257,000		1,142,500
	一般会計より補填	242,000		0
	合 計	1,499,000		1,142,500
【支出】	費目	金額	備考	天翔るペガサス決算
	基調講演講師謝礼	50,000		0
	レクチャーコンサート謝礼	0	会員に付き	0
	オープニング演奏経費	10,000	ラッパ隊	14,000
	サロン経費	0		26,400
	学生アルバイトスタッフ謝金	200,000	時給（最低賃金950円）×延時間（学生人数）	0
	校舎施設使用料	130,000	施設使用料、ピアノ調律等	93,300
	『大会要項』等編集・印刷費	430,000	チラシ、『大会要項』など	359,616

大会事業経費	260,000	大会本部経費、役務費等、事務局スタッフ・参事宿泊、収録・編集作業費等	320,875
会議費	80,000	お茶代、昼食代など	10,875
通信発送費	80,000	『大会要項』発送費 ほか	59,632
交通費	220,000	実行委員会会議、撮影隊交通費 77,540 など 表敬訪問費 105,714	213,458
スタッフポロシャツクリーニング	23,000	コロナのため使用せず	0
事務用品費	10,000		2,000
振込手数料	3,000		540
雑費	3,000		0
小計	1,499,000		1,100,696
一般会計へ繰り越し	0		41,804
合計	1,499,000		1,142,500

3) 2022 年度予算 (案) について

寺内財務理事より説明があり、異議なく承認された。

2022 年度予算

【資料 8】

【収入】	費目	2022 年度予算	備考
	2022 年度会費	3,000,000	5,000 円 × 600 名
	学会誌売上	30,000	
	『論文執筆のしおり 2020 年度版』売上	6,000	400 円 × 15 冊
	利息	0	ゆうちょ 2 冊 + みずほ
	大会会計から繰り入れ	0	
	雑収入	0	
	小計	3,036,000	
	前年度繰越金	4,164,090	
	合計	7,200,090	

【支出】	費目	2022 年度予算	備考
	『音楽表現学』 Vol.20 印刷費等	850,000	
	査読謝礼・英文題目校閲	30,000	
	ニューズレター No.1 ~ No.3 印刷費等	150,000	
	名簿 (偶数年度発行) 作成・印刷費	120,000	22 年度発行・役務費を含む
	『論文執筆のしおり』印刷費	-	今年度なし
	理事会 会場費	60,000	
	交通費	500,000	
	編集委員会 会場費	40,000	
	交通費	300,000	
	選挙管理委員会 会場費	0	(参考) 2021 年度決算 378
	交通費	0	4,800
	印刷費	0	36,607
	通信発送費	0	111,766
	役務費: 発送作業	0	12,730
	デザイン室 事務用品費	210,000	トナー、インク、ソフトなど
	役務費	160,000	各種文書作成など
	事務局費 会場費	5,000	
	交通費	50,000	
	通信発送費	350,000	NL no.1 ~ 3
	事務用品費	80,000	封筒、用紙、チャット等
	役務費	80,000	発送作業など
	財務局費 役務費	30,000	入金記録作業など
	学会基金積立	300,000	
	払込手数料	5,000	
	雑費	30,000	
	大会補助	242,000	
	予備費	10,000	
	小計	3,602,000	
	次年度繰越金	3,598,090	
	合計	7,200,090	

学会基金

【収入】	項目	2022年度予算	備考
	2022年度学会基金	300,000	
	『音楽表現学のフィールド1,2』売上	15,000	
	利息	0	三井住友
	小計	315,000	
	前年度繰越金	5,204,979	
	合計	5,519,979	

【支出】	項目	2022年度予算	備考
	『音楽表現学』バックナンバー電子化	100,000	J-STAGEへの登載
	予備費(学会創立20周年記念関連準備)	100,000	
	小計	200,000	
	次年度繰越金	5,319,979	
	合計	5,519,979	

4) 「日本音楽表現学会『音楽表現学』『投稿規定』改正(案)について

日本音楽表現学会「音楽表現学」投稿規定の改正(案)について澤田まゆみ総務理事より説明があった。中村隆夫会員(指揮)より「未公開の学位論文」について、また、安藤珠希会員(箏)より「口頭発表後に機関誌に掲載される報告」について質問があり、若干の応答の上、改正文案の趣旨を基にさらに文言の検討・修正を行うことで承認された。以下の「改正」は総会後の理事会で文言を検討、修正して決定した文言である。

「日本音楽表現学会『音楽表現学』投稿規定」

【資料9】

改正(案)	現行
第5条	第5条
(1) 原稿の内容は未公開のものに限る。ただし、 <u>公刊されているもののうち、次に示すものの一部は修正・加筆したうえで投稿しても差し支えない。</u> ・ <u>口頭発表の予稿ないし報告、科学研究費補助金などの研究報告</u>	(1) 原稿の内容は未公開のものに限る。
(3) 原稿は、 <u>コピー1部</u> を提出し、それとは別にメールに貼付する。Microsoft Wordでの提出が望ましい。	(3) 原稿は、 <u>コピー3部</u> を提出し、それとは別にメールに貼付する。Microsoft Wordでの提出が望ましい。
附則13. 2020年6月13日改正 14. 2022年6月18日改正	附則13. 2020年6月13日改正

5) 「成果発表・研究会関係細則」の改正について

澤田まゆみ総務理事より、【資料10】「成果発表・研究会関係細則」の発表者の年会費納入要件についての改定案について説明があった。安藤政輝会員より文言が重複しているのではないかと疑念が出され、安田香会員と中村隆夫会員からは修正提案も出された。若干の質疑応答の上、改正文案の趣旨を基にさらに文言の検討・修正を行うことで承認された。以下の「改正」は総会後の理事会で検討、修正して決定した文言である。

改正(案)	現行
(4) 年次大会における研究発表の申し込みは、基調講演、シンポジウム、パネル・ディスカッション等に関わる学会からの委嘱を除いて、正会員または学生会員のうち、 <u>発表する年度の前年度までの年会費の納入を申込締切日までに完了している者のみを受け付ける。</u>	(4) 年次大会における研究発表は、基調講演、シンポジウム、パネル・ディスカッション等に関わる学会からの委嘱を除いて学会員によるものとする。発表を希望する者は、 <u>前年の12月15日までに入会申し込みと年会費の納入を完了しなければならない。</u>
(6) 研究発表にあたっては、 <u>発表する年度の年会費と大会参加費の納入を大会参加申込締切日までに完了しなければならない。</u>	(6) 発表者は、 <u>4月30日までに当該年度までの年会費を、大会参加申込締切日までに大会参加費の納入を完了しなければならない。</u>
附則1. 本細則は2003年5月30日から実施する。 2. 2009年6月13日改正 3. 2018年6月9日改正 4. 2019年6月15日改正 5. 2022年6月18日改正	附則1. 本細則は2003年5月30日から実施する。 4. 2019年6月15日改正

日本音楽表現学会第20回（ソナーレ）大会



2022年6月18-19日 於：浜松学院大学



I A 司会：斎藤三十子

I A ① 藤塚太郎・新海 晋

I A ② 渡辺 香



I B 司会：木下千代

I B ① 横山陽子



I E 司会：後藤 博

I E ① 杉子 潔

I E ② 阿部亮太郎



II A 司会：石塚真司

II A ① 内崎 友太

II A ② 田中 聡明



II D 司会：小島子か

II D ① 近藤 茂之

II D ② 岡ひろみ



II E 司会：寺内大輔

II E ① 奥 翠

II E ② 梶見 敦子



III ① 佐野仁美・井越尚美・岡林 真子



III ② 水谷早紀・渡辺 洋行・近藤 真子



III B 司会：中村隆夫

① 菅内由紀子



III C 司会：水 清雄

① 後藤和哉 IV

② 北村はるか



III D 司会：杉江 梨子



IV B ② 宮下 裕衣



IV C 司会：長谷川正規



IV C ① 神中昌司



IV C ② 大西朝香子



IV E ② 清水 悠



IV E 司会：渡辺 洋行



I B②三島 郁

I C司会：橋本真司

I C①小島エマ・高井穂尚

②高井穂尚

I D司会：古田成子

I D②山崎英明



II B司会：上山典子

II B①榎原明子

II B②中嶋 淳



III C司会：小川裕子

III C① 大武美千代



III A②澤田まゆみ



III A司会：池田典子

III A①小笠原直也・宮田知絵

III A②宮田知絵・高橋千晴



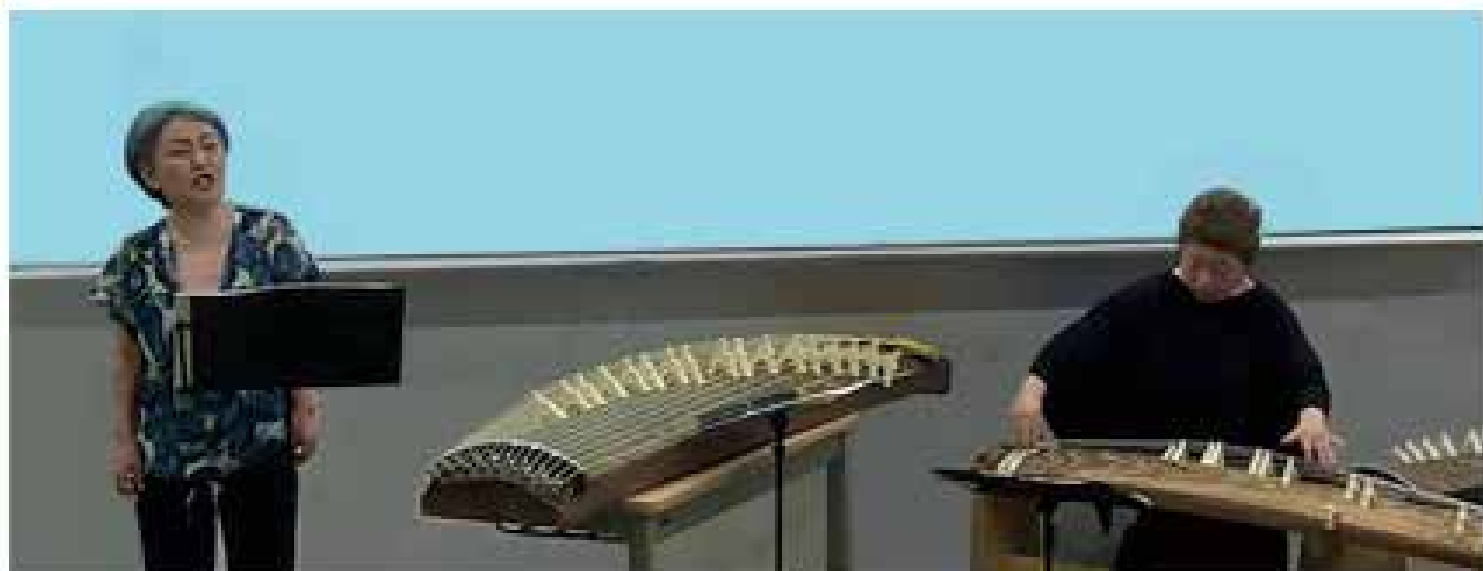
IV A司会：小川有紀

①船原嘉文



IV B司会：酒井勇也

IV B①岡田 正樹



IV B②柳村愛子・榎原美弥子（協力出演）



↑ごあいさつ 小西潤子会長 佐山の副学長 松学院大学学長 高久新吾実行委員長



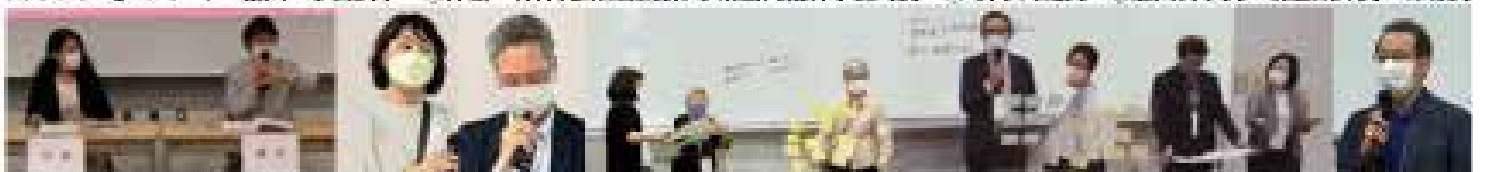
↑3号館 玄関

↑基調講演 贈和彦
浜松市家園博物館館長



↑上 実行委員会
中 学生スタッフ
下 前田理事とスタッフ

↑レクチャーとコンサート 企画：小西潤子 ①村瀬 幹沖建築士線製作事業協同組合事務局長 ②寺内 大輔氏 ③吉田典子氏・安藤政輝氏・株名氏



↑総会 吉田典子記録担当・後藤丹楓氏 得田まゆみ総務担当理事・小野亮治事務部長

↑集合セッション討論結果発表風景 藤原高文副会長



↑高層の参加者



↑学会情報記事・
(神戸新聞 2022/6/19 朝刊)
↑ブース風景
↑世界初の電子楽器ケースが
展示され、参加者も興意



6) 監事の依頼について（2年任期、偶数年委嘱）

小野事務局長より説明があり、異議なく承認された。 渡会 純一、橋本 智明

7) 参与の委嘱について（2年任期、偶数年委嘱）

小野事務局長より説明があり、異議なく承認された。 中村 隆夫、安田 香

8) 会長諮問会議メンバーの委嘱について（2年任期、偶数年委嘱）

小野事務局長より説明があり、異議なく承認された。 安藤 政輝、佐々木正利、後藤 丹

9) デザイン室長の委嘱について（2年任期、偶数年委嘱）

小野事務局長より説明があり、異議なく承認された。 奥 忍

10) 年会費滞納による除名処分について

小野事務局長より説明があり、異議なく承認された。 朝倉 美優、近藤有紀乃、新宮 央子、永井 雪乃、三塚 至、山崎 正嗣

11) 第21回大会開催期日と候補地・愛称について

小野事務局長より、次回候補地について調整中であり、近日中に発表する旨説明があった。

12) その他

中村隆夫会員より学会誌の論文等をJ-STAGEで公開する必要性について質問があった。これに対し、J-STAGE公開は研究成果の共有を意味し、学会の社会貢献につながる。本学会では会員の著作権保護の視点から1年の非公開期間が明けた後公開している旨、杉江事務局理事より説明があった。

5. 閉会の辞

小西潤子会長より、閉会の挨拶と共に退任する役員への謝辞が述べられた。

第20回（ソナーレ）大会を終えて

moments musicaux 音楽—邂逅の時

宮本 賢二朗（大会実行委員会事務局長）

3年ぶりの対面開催となった全国大会、開催に向けての企画段階では、コロナ禍が収束傾向にあったとはいえ、本当に開催できるのか、開催できたとしても参加者が少ないのではないかなど、不安要素が多くありました。実行委員会では、チラシを手分けして公共施設・近隣大学に配架していただくなど、大会開催の周知・集客にも努めてまいりました。こうして迎えた大会でしたが、直接顔を合わせ、言葉を交わすことは、やはりいいものです。大会に参加し、皆さんに再会することや新たな出会いが、実は自分の研究活動を支える大きなモチベーションであったのだ、といまさらながら気づきました。

集客に関しては、学会員以外の一般から例年よりも多くの方々に参加いただきました。チラシの配布枚数に対して想定以上の外部参加者が得られたと考えています。音楽表現学会が扱う領域、音楽文化、芸術、音楽表現に関心のある方々に、学会とその活動を知っていただくことができ、うれしく思いました。忙しいなかチラシ配布

を初め準備にご尽力いただいた実行委員の皆様、どうもありがとうございました。

本大会で特徴的だったことにはまた、浜松市で独自の技術をもつ企業がブース出展されたことです。その技術者の方々と打ち合わせを通し、音楽と関連する先端技術がますます発展していることを感じました。今文化・芸術が、科学・テクノロジーと出会い、新たな創造的な領域が次々に生まれています。

その一方で、基調講演・レクチャーコンサートでは、文化や音楽が地域の自然と切り離せないものであること、環境の持続なくして、文化の継承はあり得ないという強いメッセージが発せられました。文化とテクノロジーが融合する新たな時代の息吹を感じつつも、伝統・倫理・環境について真摯に考え続けること、暖かい人間性に裏付けられた理性の重要性を改めて感じる大会となりました。

第20回（ソナーレ）大会 参加者の声

音楽が鳴り響いた「ソナーレ」大会第一日に寄せて

尾見敦子（音楽教育／川村学園女子大学名誉教授）

「浜松まつり」のラッパの演奏で開幕した3年ぶりの対面大会。抜群のネーミング！「浜松まつり」の各町内の誇らしげなラッパ演奏が、子どもの健やかな成長を祈願する町内会ごとの大凧上げ大会を囁すものだったとは！

嶋和彦氏の基調講演では、「鶴殿のヨシ原（蘆舌）」「マルミゾウ」等を手掛かりに、「文化の生態系」の意味が「？」から「！」に変わりました。仲嶺幹氏（沖縄県三線製作事業協同組合事務局長）が取材動画（小西潤子氏制作）で語る言葉と三線組合の活動に圧倒されました。600余年の歴史の今日的な継承とは、三線の音楽が本当にさまざまな人たちを繋ぐ仕掛けづくりだったとは！と共感し、明るくタフな行動力と包容力を生み出す沖縄の三線の音楽を奏でてみたいと思いました。絹糸の箏糸で演奏される箏（安藤政輝氏・安藤珠希氏）がかくもまるやかで美しいことを知り、感激しました。

この「ソナーレ」の喜びこそ「学校音楽」の活力でなくては！

はじめて大会に参加して

内崎章太（ピアノ／東京音楽大学博士課程）

初めての学会参加にあたり、自分の知識や経験不足から最初は緊張しておりました。ですが、発表に対してご自身の専門分野から意見を述べる方や意欲的に質問する方、内容を熱心にメモする方など様々な方がいらっしやり、とくに学者然とする必要はないのだと感じました。色々なご専門の方の研究内容を聞けるのだから、基本的には学びの姿勢で、自分自身の視点から何か気づくことがあれば意見を述べればいい、とのスタンスで臨むことができました。また、日本音楽表現学会は演奏家や現場で実際に活動している方も多いようで、経験を踏まえたお話を伺えたのが大変面白かったです。

私が発表した際も、実践的な視点からご意見をいただきました。私自身、演奏を主としているのですが、研究内容が実践から離れかけており、そのことに気づくこと

ができました。

次回も是非参加し、勉強ならびに意見の交流ができればと思っております。

これからのサロンに期待！

稲木真司（音楽教育／名古屋女子大学）

山梨大学で開催された記念すべき第10回 Blue Valley 大会で始まった「サロン」。20回目となった今回のソナーレ大会では、このサロンも10年目という節目を迎えました。昨年は新型コロナの影響でオンライン開催となりましたが、サロンの企画は継続し、この10年間で、「ピアノ」「管弦打楽器」「声」「日本音楽」「作曲」「指揮」「音楽表現と社会」「ソルフェージュ」などの様々な分野にわたるサロンが生まれてきました。

ソナーレ大会では、専門や興味の異なる会員が10名ほどのグループとなり、今後のサロンのあり方について様々なディスカッションを行いました。私個人は数年ほど前から、ソルフェージュのサロンのまとめ役を務めていたので、他のサロンでどのような話し合いや情報共有が行われているのか全くわかりませんでした。今回のディスカッションを通して、他のサロンの様子をうかがうことができました。全体での発表でも様々な意見や提案が出されたので、それをもとに全国大会のサロンが今後どのように進化を遂げていくのか、心から期待しています。

音楽表現の広がりを感じた研究発表

北村はるか（心理学／明治学院大学大学院博士後期課程）

まず、本大会で研究を発表させていただきましたことに、この場を借りて心より御礼申し上げます。私は、初めて音楽表現学会に参加させていただきました。本学会は、これまで私が参加した学会とは異なり、先生方のご専門が幅広く、改めて音楽表現の奥深さを感じる2日間となりました。研究発表では、実験手法やデータ分析に関するご意見、音楽表現における実践的なご意見など、多様な視点からのご意見を頂戴しました。

私が今回発表させていただいた内容は、高齢者を対象としたテンポの基礎的な研究です。この基礎的な研究をさらに発展させるためには、また、音楽表現や音楽教育の現場など実践的な研究に繋げていくためには、などといった、私の研究の可能性が、各ご専門の先生方のご助言のおかげで広がったように感じております。

今後も音楽表現学会に参加させていただきたいと存じております。どうぞご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

ブース会場にて

梶村有美（ピアノ）

「もしかしてカジムラさん!?!」ブース会場でデモンストラーションのテルミンを夢中で試していると、突然頭上で高い声が響き、「こんなところで私を呼ぶのは誰?」、咄嗟に顔をあげると、それは今年のオンラインサロン「音楽表現と社会」にて、共感を覚えた吉田直子さんでした。リアルでは初にお目にかかりました。そして共に教室に向かいながら、一昨年の誌上発表の際の吉田さんの投稿論文について、すぐさまその後日談を伺いました。

この一瞬の出来事は、過去2年、コロナ禍においても日本音楽表現学会が研究の歩みをとめなかったことの証であり、しかし我々は研究の歩みをとめるわけにはいかない、という当時の事務局の強いメッセージを想起させました。この度の対面開催の感慨はひとしおで、しかもそれは信念とともに受け継がれてきたものである、と体感しました。今回の新たな出会いも次へ。得た視点は地域に持ち帰り、今後も着々と日々の実践に生かせればと思います。

ソナーレ大会を振り返って

清水稔（音楽教育・作曲／弘前大学）

思考であっても、会話であっても、言葉が言葉を紡いでいくときに、画面という枠で切断された空間、映像化された虚像の距離感からは生まれ得ない言葉があるはず。自ずと人が集まり議論が始まることや、“そこ”に歩いて近づいていくときの「近づいていく」という感触が心地よい待ちに待った対面での開催でした。

浜松の地に降り立って、会場に入るまでに過ごした時

間を文脈に持ちながら、他者（音楽、声も）に直に向き合う中で、“そこ”でしか味わえないような、（空間を切断することなく）五感を通して触れる実感がありました。そのような「触れあい」の中でしか生まれえない「気付き」は、研究では大事なことだと思います。

その語りつくせない“こと”が、体験となって、その後の“私”にかかわってくるとすれば、なんと贅沢な時間であったことでしょうか。本大会の実行委員の方々、参加者の皆様に、心より感謝いたします。

大会の感想（ソナーレ大会に寄せて）

片寄晴弘（一般参加
エンタテインメント・コンピューティング
ヒューマン・コンピュータ・インタラクション
関西学院大学 工学部）

この度、日本音楽表現学会第20回（ソナーレ）大会に参加させていただいた。コロナ禍は2年を超え、その間、多くの学会や学術的なイベントも中止、あるいは、オンライン開催を余儀なくされ、大変窮屈な想いを重ねてきた。

本大会は、私にとって、コロナ禍以降、初めて対面形式の学会に参加させていただく機会となった。対面で講演を聞かせていただいたり、お話ししたり、また、素晴らしい生演奏を拝聴する機会を頂き、音楽関連で研究を行う楽しさについて改めて認識させて頂いた。本大会が対面形式で実施されたことについて祝意を表するとともに、準備をされた大会関係者各位に感謝申し上げたい。

発表された内容からは、「音楽表現」を基軸に、音楽現場、音楽学、教育、心理学等、幅広い領域、アプローチからの取り組みがなされていることが伝わってきた。この領域に近い、国際的な学術コミュニティとしては、Performance Science (<https://performancescience.org/>) があり、隔年で国際会議が開催されている。次回（2023年）は、ワルシャワでの開催が予定されている。みなさまに参加と、発表されることをお勧めしたい。

Performance Science では、音楽だけではなく、舞踊を含めたパフォーマンスアーツ全般が取り扱われている。国内において、舞踊関連なら、舞踊学会、日本ダンス医科学研究会が活動しているので、連携大会を企画されるのも面白いのではないかと考える。

貴学会がさらなる発展を遂げられることを祈念する。

新入会員紹介

個人情報につき削除しています。

個人情報につき削除しています。

後援コンサート等情報

- 鶴澤 友球さん **ミニライブ**
日 時：2022年5月14日(土)
会 場：兵庫県立兵庫津ミュージアム初代県庁館 旧同心屋敷
料 金：各部1,200円 2部通し2,000円(高校生以下は半額) お稽古体験1,200円
出演者：鶴澤友球(弾き語り)
内 容：第1部『一谷嫩軍記』二段目〈組討の段〉
第2部『傾城阿波の鳴門』八段目〈巡礼歌の段〉
- 鶴澤 友球さん **百年長屋の義太夫節 ～鶴澤友球 弾き語りライブ～**
日 時：2022年5月28日(土)
会 場：百年長屋(〒537-0025 大阪市東成区中道3-2-28)
料 金：予約2,500円 当日2,800円 お稽古体験1,500円
出演者：鶴澤友球(弾き語り)
内 容：『傾城阿波の鳴門』八段目〈巡礼歌の段〉
- 鶴澤 友球さん **第16回どんぐり浄瑠璃ミニライブ&出稽古**
日 時：2022年6月5日(日)
会 場：レンタルスペースどんぐり(〒679-1336 兵庫県多可郡多可町加美区)
料 金：1,000円 お稽古体験1,000円
出演者：鶴澤友球(弾き語り)
内 容：『絵本太功記』十段目〈尼ヶ崎の段〉(中) 解説付き
- 奥村 治さん **アルペジオーネによるアルペジオーネソナタ演奏会**
日 時：2022年6月25日(土) 14:00 開演
会 場：エプタザール(東京都狛江市)
料 金：御招待のみ
出演者：奥村治(アルペジオーネ)、住野公一(アルペジオーネ、チェロ)
主要内容：アルペジオーネ アントンミッタイス1824年モデルによるレクチャーと演奏
主 催：奥村治、住野公一
問合せ先：奥村治 arpeggione@live.jp
- 鶴澤 友球さん **第6回 浄瑠璃研鑽会**
日 時：2022年6月25日(土) 13:30 開演
会 場：淡路市立地域総合センター(ふるさとセンター)
料 金：無料
出演者：鶴澤友球会、鶴澤友球会会員、藤間広勢(ゲスト)
主要内容：義太夫節三味線メリヤス、『壺坂観音霊験記』〈沢市内の段〉
『艶容女舞衣』〈酒屋の段〉、『伽羅先代萩』〈政岡忠義の段〉、長唄『京の四季』
後 援：淡路島内3市・島内3市教育委員会(公財)淡路人形協会
問合せ先：鶴澤友球会事務局 Tel/Fax:0799-62-5805

- 鶴澤 友球さん **第17回どんぐり浄瑠璃ミニライブ&出稽古**
 日 時：2022年7月3日(日)
 会 場：レンタルスペースどんぐり (〒679-1336 兵庫県多可郡多可町加美区)
 料 金：1,000円 お稽古体験1,000円
 出演者：鶴澤友球(弾き語り)
 内 容：『絵本太功記』十段目〈尼ヶ崎の段〉(奥)他
- 安田 香さん **第4回瑠璃会コンサート**
 日 時：2022年8月20日(土) 13:30開演
 会 場：クララザール〔じゅうろく音楽堂〕(〒500-8302 岐阜市本郷町1丁目28番地)
 料 金：無料
 出演者：見田寛、安田香 他
 主な曲目：ドビュッシー/《ベルガマスク組曲》、ベートーヴェン/ピアノ・ソナタ Op.101
 問合せ先：クララザール事務局 058-266-2552
- 高旗 健次さん **ヴァイオリンリサイタルー R.シューマン作曲 ヴァイオリンソナタ 全3曲ー**
 日 時：2022年9月11日(日) 14:00開演(13:30開場)
 会 場：東広島芸術文化ホールくらら 小ホール(〒739-0015 東広島市西条栄町7番19号)
 料 金：一般3,000円 学生1,500円(当日各500円増し)
 出演者：高旗健次(ヴァイオリン)、垣内敦(ピアノ)
 演奏曲目：R.シューマン/ヴァイオリンソナタ 第1番 イ短調 Op.105
 第2番 ニ短調 Op.121、第3番 イ短調 遺作
 主 催：広島大学大学院人間社会科学研究科音楽文化教育学領域弦楽研究室
 チケット販売&問合せ先：E-mail：kent-violin@hiroshima-u.ac.jp TEL/FAX：082-424-6831
- 佐野 晴美さん **きょうことば・こんさあと こんな時こそ…京ことば ばあーと2**
 日 時：2022年9月25日(日) 16:30開演(16:00開場)
 会 場：有形文化財 長谷川 歴史・文化・交流の家 075-606-1956
 料 金：前売り2,000円 当日2,500円
 出演者：佐野晴美(メゾソプラノ)、稲田万里子(ピアノ)、竹中真(JAZZピアノ)
 主な曲目：嵐野英彦作曲・白川淑詩「京ことばによる歌曲集」より「みつつのしゃんそねった」
 「女人東山〜錦秋の巻」等、童謡・唱歌「うさぎ・虫の声・真っ赤な秋・里の秋」等
- 初山 陽子さん **ヘンデル《快活の人、沈思の人、中庸の人》作曲当時の発音を復元して**
 日 時：2022年10月10日(月祝) 12:00開演
 会 場：名古屋市東文化小劇場ホール
 料 金：無料
 出演者：初山陽子(解説)、声楽11名他
 主な曲目：ヘンデル《快活の人、沈思の人、中庸の人》全曲
 問合せ先：ホームページ：<http://stella.a.la9.jp/2022LAllegro>

藤原 嘉文さん
池山 洋子さん

山梨の作曲家による『甲州 21 世紀音楽展』～第 2 回作品演奏会～

日 時：2022 年 10 月 15 日（土） 15:00 開演（14:30 開場）

会 場：山梨大学 大村記念ホール（大村智記念学術館内）<https://omura-museum.yamanashi.ac.jp>

料 金：無料（完全予約制）

主 催：甲州 21 世紀音楽展実行委員会

出演者：藤原嘉文、池山洋子、中村美友、植村朋世 他

曲 目：藤原嘉文《Interplay ～ピアノ 4 手連弾のための》、中村美友《纏（まとい）～
2 台のピアノのための》、佐藤晶子《Beyond the spital – 細棹、低音三味線の
ための二重奏》、平出新《Essey（余薫）～弦楽合奏のための》、植村朋世《UNO
～2 人の打楽器奏者のための》他、全 7 作品

問合せ先：予約方法については、8 月中旬以降 koshu21music@gmail.com へ

三木 康子さん

三木康子ピアノ・リサイタルー時空を超え未来に響く音を求めてー No.8

日 時：2022 年 11 月 5 日（土） 15:00 開演

会 場：ザ・フェニックスホール（大阪市北区西天満 4-15-10）

出演者：三木康子（ピアノ）

主な曲目：モーツァルト / 幻想曲 K.397、ショパン / 12 の練習曲 Op.25

尾高惇忠 / ノクターン、ラフマニノフ / ソナタ第 2 番 Op.36（1931 年版）

問合せ先：大阪アーティスト協会 06-6134-0503

伊藤亜希子さん

第 21 回 伊藤亜希子ピアノリサイタル

日 時：2022 年 11 月 20 日（日） 14：00 開演

会 場：函館市芸術ホール [ハーモニー五稜郭]

料 金：一般 2,000 円 学生 1,000 円

出演者：伊藤亜希子（ピアノ）

主な曲目：ショパン / スケルツォ 第 2 番 変ロ短調 Op.31

ピアソラ / オブリヴィオン、アディオス・ノニーノ 他

問合せ先：伊藤亜希子後援会事務局 090-7641-8036

成瀬 当正さん

成瀬当正バリトンリサイタル

日 時：2023 年 2 月 10 日（金） 17：00 開演

会 場：すみだトリフォニーホール 小ホール

料 金：一般 3,000 円 学生 2,000 円

出演者：成瀬当正（バリトン）、広瀬宣行（ピアノ）

主な演目：シューマン「詩人の恋」全曲、山田耕筰／北原白秋 歌曲

マーラー「さすらう若人の歌」全曲他

問合せ先：日本の叙情歌曲・童謡・唱歌の会 047-469-9044

会員による新刊案内

赤塚 太郎さん、他

『新しい音楽のおさらい 日本のわらべうたと、ヨーロッパの音と、世界の音と』

【出版社】共同音楽出版社

【判型・頁数】菊倍判、112 頁

【発行年月日】2022 年 3 月 1 日

【定価】2,200 円（税込）

【ISBN コード】978-4778504593

事務局からの重要なお知らせとお願い

1. 年会費の納入について

- (1) **納入期限**：その年度の4月1日から大会開催1週間前までをお願いします。

学会は皆様方の年会費で運営されています。滞納されますと、機関誌の発行、大会の開催など、さまざまな活動に支障をきたします。例年年度当初（4月）に速やかな納入をお願いしています。今年度の会費をまだお振り込みでない方はお急ぎください。なお、3年滞納された方は、総会での審議事項、年会費滞納による除籍対象者になります。無意識滞納にご注意いただきますと同時に、対策の一助として、納入後はただちに、「振替払込請求書兼受領証」（ATM ご利用の場合は「ご利用明細票」）に、納入年度をメモの上、保存されることをお勧めいたします。

- (2) **振込方法**：同封のゆうちょ銀行青色の「払込取扱票」をご利用ください。

年会費納入方法の合理化のために、「ゆうちょダイレクト等ネットバンキング」に入金できる方法も導入しています。ネットやコンビニ等を利用して、銀行や郵便局に行かなくても納入が可能です。もちろん従来の「払込取扱票」でも構いません。年度当初の速やかな納入をお願いします。

年会費納入方法：

- A) 郵便局からの振込（払込取扱票を利用）

（記号一番号）01370 =6= 78225 加入者名：日本音楽表現学会

- B) 他行等からの振込（店名 - 口座番号）いちさんきゅう

店名 一三九(139)店 預金種目：当座 口座番号：0078225

- (3) **領収書・請求書の発行**：必要な方は事務局へお問い合わせ下さい。

領収書は原則として発行いたしません。「振替払込請求書兼受領証」（ATM ご利用の場合は「ご利用明細票」）を領収書として保管ください。

大学研究費での引き落とし等、請求書・領収書の必要な方は事務局へお問い合わせください。財務局へ取次ぎ、発行手続きをいたします。

- (4) **年会費減免措置について**：自然災害等の被災による減免措置の制度

学会では、地震や洪水等、自然災害の被災によって年会費納入が困難な会員の年会費を減免する制度があります。必要な方は、HPから書式「年会費減免願」書式をダウンロードし、申請ください。理事会に諮り、減免手続きをいたします。

2. 住所等、会員情報の変更：HPフォームにて速やかにお知らせをお願いします。

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/form/postmail2.html>

学会からの送付物は事務局本部で理事とスタッフが手作業で、お届けいただいた連絡先にお送りしています。しかしながら、転居先不明等で返却される封筒が少なからず存在します。そのたびに所属先や、時には入会時の「推薦者」に問い合わせ再送しています。また、経費節減のために学会からの郵送物は郵送ではなく、「デリバリーサービス」を使っています。郵便局宛の住所変更届は民間配送業者には届きません。学会からの送付物が必ずお手元に届くように、また返送による送付作業の手間と経費を削減するために、みなさまのご協力を切にお願い申し上げます。

郵送物の住所変更届を郵便局に提出されても民間配送業者には届きません。

3. 学会員の研究サポート制度

(1) 機関誌『音楽表現学』への投稿

原稿の投稿には、会員資格と当該年度までの会費を完納していることが必要条件です。手続きには2～3週間かかります。その点ご確認ください。

『音楽表現学』に論文が掲載されると、大学などでは「査読付学术论文」としての評価を受けます。年度末などに業績の報告をされる際には、その旨をお記し下さい。

投稿〆切は毎号5月15日24:00です。

(2) 大会での発表

本学会ならではの生の音楽表現を含めた研究発表の機会をご利用ください。〆切期日は厳守ですので各自で明記してください。

大会発表応募〆切は毎回2月15日24:00です。

4. 会員への情報公開

(1) ニュースレターへの投稿

ニュースレターは会員の交流の場です。音楽表現に関するご意見など、ご寄稿ください。研究ノート、随想などを図表等を含めて刷り上がり1頁以内でお送りください。

(2) コンサート等の後援・協賛

学会HPより[コンサート等後援/協賛申請フォーム]をダウンロードして、必要事項を記載し、メール添付ファイルにて学会事務局に申請してください(各項目は1行39字以内を原則とします)。確認後、事務局より「後援受理書」をお送りしますので、チラシやプログラムに学会名を掲載ください。HP及びニュースレターにも案内を掲載します。出演者氏名の掲載は会員のみとなります。事務局からの返信が1週間以内に届かない場合は、事務局にご連絡ください。

(3) 新刊案内・CD/DVD リリース

ニュースレターとHPに掲載します。

- ・新刊案内の項目は著者名(会員)、書名、ISBN、出版社、発行年月日、判型と頁数、税込価格(税抜価格)、購入方法など
- ・CD、DVDの項目は制作・編集者名(会員)、タイトル、DVD-No.、所要時間、発売・販売、発行年月日、税込価格(本体価格)、購入方法など

(4) その他：隣接領域の研究会等情報などもお寄せください。

投稿受付は随時、ワードの添付書類で学会事務局宛にお願いします。

music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

5. 学会発刊の書籍の販売について

(1) 『音楽表現学』バックナンバー購入方法と価格

メール等で事務局までお申し込みください。
代金は、到着後郵便振替でお願いします。大学
図書館などへの納入については事務局にお問い合わせ
合わせてください。

Vol.	会員価格（1部）	一般価格（1部）
1～3	2,500円+送料	3,000円+送料
4～14	3,000円+送料	3,500円+送料
15以降	2,500円+送料	3,000円+送料

(2) 『音楽表現学のフィールド2』好評発売中。

メール等で事務局までお申し込みください。
会員価格にて購入いただけます。代金は、到着
後書籍に同封の郵便振替でお願いします。
会員価格：3,000円（正価×0.9-α、税込・送料込み）
一般価格：3,456円（税抜3,200円）

[購入申込書]

『音楽表現学のフィールド2』の購入を申し込みます。
氏名： _____
部数： _____
送付先： _____
連絡用E-mail： _____

6. 入会手続きについて

本会機関誌への投稿や大会での発表の申込みは本会会員であることが条件です。手続きには2～3週間かかります。

- ①入会申込書はHPからダウンロードし、メールで事務局にお届け下さい。
- ②事務局から必要な手続きについて連絡が届きます。その連絡に沿って手続きをお進めください。
- ③手続きが完了したら、理事会の承認に進みます。
 - ・学会からの連絡（印刷物お届けなど）は、ご記入いただいた「連絡先」に届けます。
 - ・お届けいただいた情報は、事務局で厳重に管理し、学会事務以外の使用目的には供しません。

7. 退会手続きについて

退会には以下の3点が必要です。「退会願」を提出しないで、年会費を先延ばしにしていると「会則第8条」によって除名処分になります。仕事や私的な理由で残念ながら学会員を「これ以上続けることができない」と判断された場合には、必要な手続きを行ってください。

- ①「退会届」をHPからダウンロードして必要項目をご記入の上、メールで事務局にご提出下さい。
- ②大会の必要条件「その年度までの年会費を完納」を満たしているかどうか、ご確認ください。
- ③手続きが完了したら、理事会の承認に進みます。

学会事務局 E-mail： music-expression@music-expression.sakura.ne.jp

<http://www.music-expression.sakura.ne.jp/>

日本音楽表現学会第21回（平安）大会のご案内

会 場：京都女子大学音楽棟・幼児教育棟（京都市東山区今熊野北日吉町 35）

会 期：2023 年 6 月中旬（日程は決定次第学会 HP でお知らせします。）

実行委員会：荒川恵子、牛渡克之、大谷正和、岡ひろみ、岡林典子、奥忍、ガハプカ奈美、木下千代、古庵晶子、近藤晶子、佐野仁美、杉江淑子、田中純、土居知子、豊田典子、中村公俊、似内裕美子、福本康之、松井萌、三島郁、安田香、吉田直子

会場への主なアクセス：京都駅八条口（新幹線側）からプリンセスライン（赤いバス）に乗車
京都女子大学直行（230 円）

愛称の主旨：古来音楽は平和を願って奏されてきた。

「平安京」の名には「平らかで安らかな都」であることを願う気持ちが込められている。久々に京都で開催される今大会。戦争で、コロナで、異常気象で、皆が苦しい今この時こそ、私たちは共に平和と音楽表現について考えてみたい。



編集後記

コロナ下の学会運営がどれだけ大変だったか、想像するしかありませんが、これまでの理事の方々、本当にお疲れ様でした。新理事として初めて担当するニューズレターは、久しぶりの対面開催となったソナーレ大会でのワクワクするような気持ちが伝わる寄稿に恵まれました。小西潤子会長による持続可能性についての巻頭言は、音楽家として真剣に考えるべきことがあると教えてくれました。そして、次回の大会が京都に決まり、これからニューズレターを通して、皆様に大切な情報をお伝えしていかなければと、身の引き締まる思いです。

（大竹 紀子）

2022 年度役員・委員等一覧

会 長：小西 潤子	編集委員会：	デザイン室長：奥 忍
副 会 長：藤原 嘉文 石原 慎司	委員長 渡辺 修身	参事 (HP/ 機器)：近藤 晶子
事務局 長：杉江 淑子	副委員長 小川 容子	(D室)：中村 公俊
財務局 長：寺内 大輔	委員 稲木 真司 田中 宏明	(J-Stage)：長山 弘
理 事：宮本賢二郎 (事務局担当)	田中 昌司 豊田 典子	(庶務)：似内裕美子
小川 有紀 (財務局担当)	長谷川正規 三島 郁	(庶務)：松井 萌
大竹 紀子 (総務担当)	著作権ワーキング：	スタッフ (事務局)：稲垣 真世
吉田 秀文 (総務担当)	代表 福本 康之	(財務局)：藤脇千津子
監 事：渡会 純一 橋本 智明	委員 近藤 晶子 酒井 勇也	
参 与：中村 隆夫 安田 香	高橋 豊 中村 滋延	
会長諮問会議：安藤 政輝 佐々木正利	選挙管理委員会：	
後藤 丹	委員長 田邊健太郎	
	委員 牛渡 克之 松井 萌	